

認知症施策の推進について

長崎県福祉保健部長寿社会課
平成29年3月17日（金）
認知症施策推進会議

長崎県の認知症施策の進捗状況 (H29.3.1現在)

新オレンジプランの7つの柱	事 項	新オレンジプランにおける目標 (数値は全国での目標値)	本県の状況
I. 認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進	認知症サポーターの人数(累計)	平成29年度末 800万人	93,150人(平成28年12月31日時点) キャラバンメイト 1,362人 サポーター 91,788人
	認知症サポーター養成講座を修了した者が復習もかねて学習する取組の推進	平成27年度 学習手法の見本について検討 平成28年度～ 地域や職域の実情に応じた取組を推進	平成24年度～平成27年度まで 「認知症サポーター活動拠点支援事業(県単)」として、長崎市、西海市、島原市、雲仙市、五島市にて実施
II. 認知症の样態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供	かかりつけ医認知症対応向上研修の受講者数(累計)	平成29年度末 60,000人	1,103人(平成27年度末時点)
	認知症サポート医養成研修の受講者数(累計)	平成29年度末 5,000人	113人(平成28年度末時点)
	歯科医師・薬剤師の認知症対応力向上研修 看護職員の認知症対応力向上研修	平成27年度 研修のあり方について検討 平成28年度～ 関係団体の協力を得て研修実施	

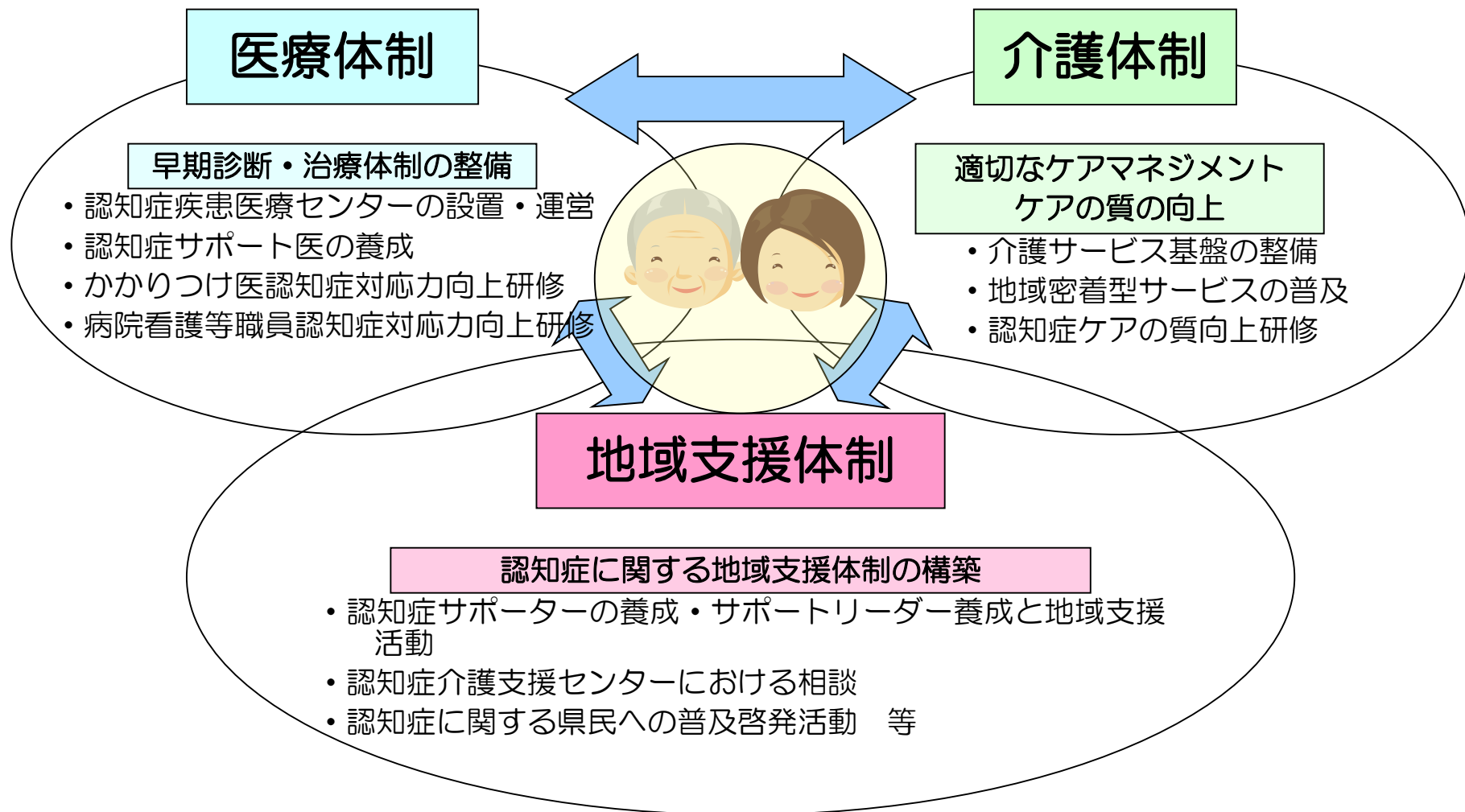
長崎県の認知症施策の進捗状況 (H29.3.1現在)

新オレンジプランの7つの柱	事 項	新オレンジプランにおける目標 (数値は全国での目標値)	本県の状況
II. 認知症の様態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供	認知症疾患医療センターの数	平成29年度まで 約500箇所整備	認知症疾患医療センター 5箇所(基幹型1、地域型4)
	認知症初期集中支援チームの設置市町村数	平成30年度から 全ての市町村で実施	実施市町6市町 大村市、松浦市、佐々町、諫早市、 長崎市、五島市
	一般病院勤務の医療従事者に対する認知症対応力向上研修の受講者数(累計)	平成29年度末 87,000人	864人 11医療機関 (平成28年度)
	認知症介護指導者養成研修の受講者数(累計)	平成29年度末 2,200人	35人(平成28年度)
	認知症介護実践リーダー研修の受講者数(累計)	平成29年度末 4万人	653人(平成28年度)
	認知症介護実践者研修の受講者数(累計)	平成29年度末 24万人	5,588人(平成28年度)
	認知症介護基礎研修の受講者数(累計)	認知症介護に携わる可能性のあるすべての職員の受講を目指す	245人(平成28年度)

長崎県の認知症施策の進捗状況 (H29.3.1現在)

新オレンジプランの7つの柱	事 項	新オレンジプランにおける目標	本県の状況
II. 認知症の样態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供	認知症地域支援推進員の人数	平成30年度からすべての市町村で実施	配置予定市町13市町、43人 (長崎市20人、佐世保市5人、島原市1人、諫早市5人、大村市3人、平戸市1人、松浦市1人、五島市1人、西海市1人、雲仙市1人、南島原市1人、島原広域1人、佐々町1人)
III. 若年性認知症施策の強化	若年性認知症の人の自立支援に関わる関係者のネットワークの調整役を担うものの配置等の実施	平成29年度末47都道府県	現在検討中
IV. 認知症の人の介護者への支援	認知症カフェ等の設置	平成30年度にすべての市町村に配置される認知症地域支援推進員等の企画により地域の実情に応じ実施	配置市町8市町、12ヶ所 (長崎市5、佐世保市1、大村市1、島原市1、雲仙市1、南島原市1、佐々町1、波佐見町1)

長崎県における認知症施策の体系



【医療体制の整備】

①認知症の早期発見・早期治療の推進と認知症専門医療体制整備の強化

(継) 認知症疾患医療センター運営事業

②離島の認知症医療支援体制の整備

(新) 認知症疾患医療センター運営事業

③医療専門職の実践的な認知症対応力の向上、認知症患者の早期発見やかかりつけ医

等との連携等を図るための研修を実施

(新) 歯科医師の認知症対応力向上研修

(新) 薬剤師の認知症対応力向上研修

(新) 看護師の認知症対応力向上研修

④認知症の発症初期から状況に応じた医療を提供するために、かかりつけ医等に対する

研修を実施し、地域の医療支援体制の構築を図る

(継) 認知症サポート医等フォローアップ研修

(継) かかりつけ医認知症対応力向上フォローアップ研修

(継) 認知症サポート医養成研修

長崎県の認知症疾患医療センター指定状況

(H29.3.1現在)

舌岐圏域

対馬圏域

佐世保県北圏域

佐世保中央病院
地域型

県央圏域

上五島圏域

諫早総合病院
地域型

五島圏域

長崎圏域

出口病院
地域型

島原保養院
地域型

県南圏域

長崎大学病院
基幹型

20km

【介護体制の整備】

①認知症介護の水準向上と指導者の養成によるより良い介護サービスの提供体制の

構築

(継) 認知症介護研修事業

(継) 認知症介護指導者フォローアップ研修

②介護従事者のキャリアに応じた認知症介護研修をこれまでの本土地区に加え、新たに

に離島地区で実施

(継) 認知症介護基礎研修

認知症対応型サービス事業開設者研修

認知症対応型サービス事業管理者研修

小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修

権利擁護推進員養成研修

(新) 認知症介護基礎研修

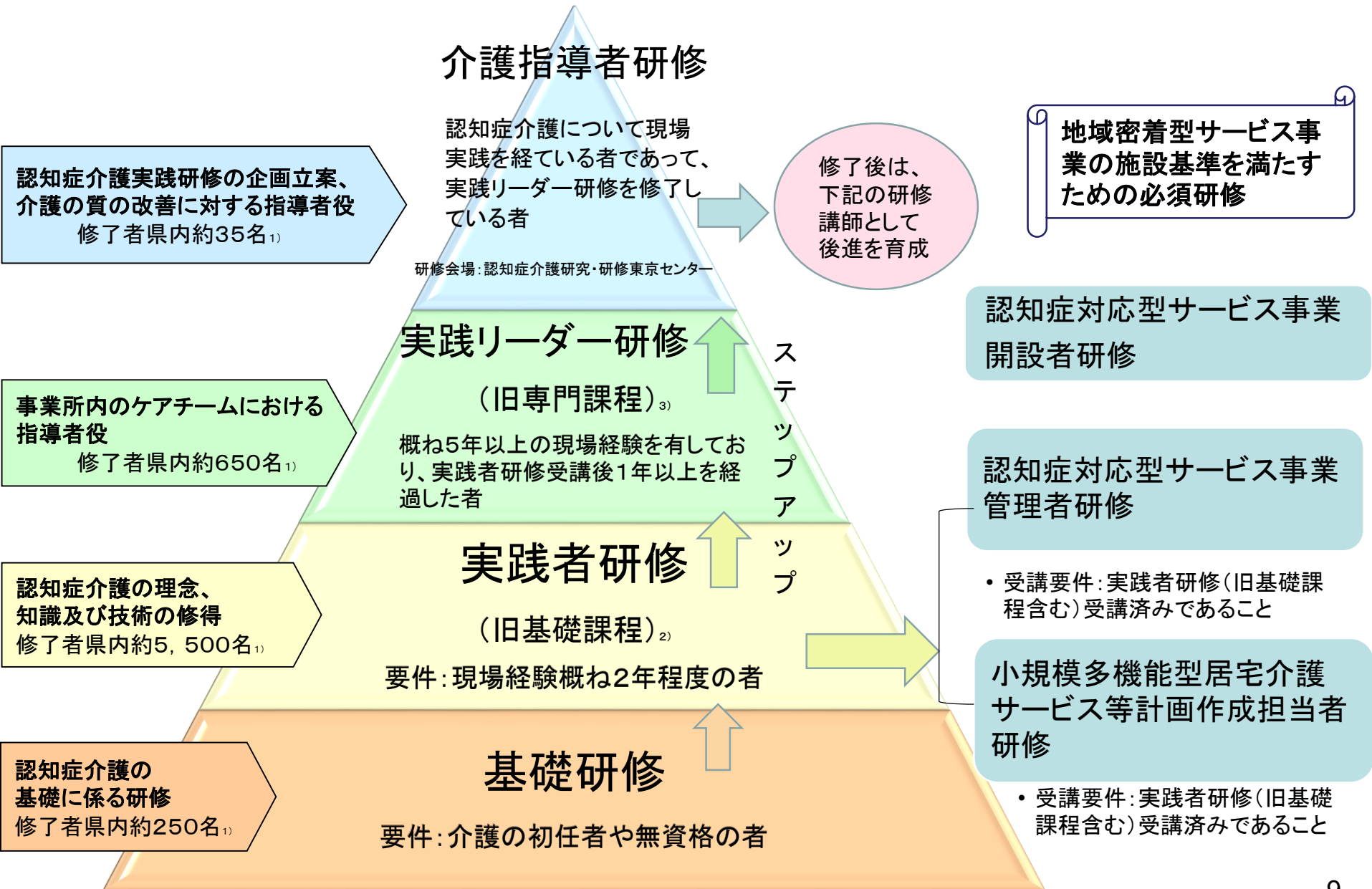
認知症対応型サービス事業開設者研修

認知症対応型サービス事業管理者研修

小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修

権利擁護推進員養成研修

長崎県の認知症介護に関する人材育成研修体系



注) 1) 平成28年度末の実績値 2) 痴呆介護研修 基礎課程 3) 痴呆介護研修 専門課程

【地域支援体制の整備】

①認知症サポーター養成等による地域や職場で支えあう地域支援体制の整備

(継) 認知症キャラバン・メイト養成研修

(継) 認知症高齢者地域支え合い事業

②若年性認知症支援のための医療・福祉・雇用関係者等による支援ネットワークを

構築

(新) 若年性認知症自立支援事業

③市町における認知症の相談支援体制の整備を促進するため、先進事例を普及

するセミナーを開催するとともに、各圏域ごとに体制整備に向けた課題解決策を検討

(新) 認知症地域支援施策推進事業

(拡) 認知症初期集中支援チーム員養成研修事業

若年性認知症自立支援事業(H29)

【課題】

1. 若年性認知症は、初期症状が認知症特有のものではないことから診断がつきにくく、また本人や家族は何らかの異常には気づくが受診が遅れることが多い。
2. 若年性認知症の人は、その状況や環境に応じて、今後の生活等に係る相談、雇用の継続や障害福祉サービスである就労継続支援事業の利用、障害者手帳の取得や障害年金の受給など、様々な制度に関わってくるが、必要な情報提供がなされず、適切な支援に結びつかない。

【ネットワークの役割】

- ・普及啓発
- ・早期診断・早期対応へつなげる仕組みづくり
- ・発症初期から適切な支援が受けられるための若年性認知症支援のハンドブック作成配布
- ・若年性認知症の人やその家族からの相談窓口の設置
- ・自立支援に関わる関係者のネットワークの調整役を担う者の配置
- ・若年性認知症の人のニーズ把握
- ・若年性認知症の人やその家族が交流できる居場所づくり
- ・就労支援に関する周知(事業主への理解を図る、ハローワークの支援等が利用可能)

【実施計画】

平成29年度

平成30年度

平成31年度

- ・普及啓発
- ・就労支援等の様々な支援についての周知
- ・早期診断・早期対応へつなげる仕組みづくり
- ・若年性認知症支援のハンドブック作成

- ・関係者のネットワークの調整役を担うコーディネーターの配置。相談窓口の設置
- ・若年性認知症の実態調査

- ・地域の身近なところで、若年性認知症の相談や居場所の設置

若年性認知症の地域支援体制図

